



このとり通信

No.89

発行日：2017年1月10日

編集：広報委員会

<http://www.hacsw.or.jp/>

新年を迎えるにあたり ～みなさんと飛躍の年に～

会長 岡本 和久



あけましておめでとうございます。新しい年はみなさんと一緒に、未来に向かって確かな一歩を進める年にしたいと願っております。

2017年度は介護保険法による総合支援事業の全面実施や社会福祉法人制度改正、改正年金強化法の施行など、制度の改正が予定されています。

本会は、組織力向上のため、「兵庫県社会福祉士会2020・5ヵ年発展計画」の推進に取り組み、新たに研修ニーズ調査や入会促進キャンペーンなど様々な活動や事業を展開し、みなさんのおかげで2016年10月に会員数は1,500名を超えました。

会員のみなさんが、自己研さんを積み、専門性を磨かれるとともに、会員相互のネットワークを広げ、より高い実践力を培っていただき、地域や県民の方々に社会貢献・地域貢献を行い、行政や社会に必要な提言を行っていただける会にしたいと思います。そして、より多くの会員が集い、社会福祉士の地位向上を目指してい

きたいと願っています。

本年は酉（とり）年です。酉年の方は、頭の回転が早く、バランスがとれています。また、責任感が強く、まめなのでどんな仕事もそつなくこなします。先見の明がり、名誉を重んじま。武士が備えるべき5徳（知・信・仁・勇・嚴）を有し、洞察力に優れ、細かいところにもよく気がつきます。客観的にものごとを見て判断ができ、論理的です。

一方で、負けず嫌いでプライドが高く、対人関係では自分本位になりがちな面がみられるところも。こだわりが強く完璧を求めすぎるあまり、空回りしてしまうこともあります。たとえ思い通りにならないことがあっても受け入れる懐の広さをもつとよいようです。

本年も酉（とり）のように飛躍し、みなさんのご活躍をお祈りしています。

新年度予算について3月25日（土）に予算総会を開催しますので、会員のみなさんのご出席をお願いします。

目次

- 会長新年のごあいさつ…………… 1
- 行事報告…………… 2～8
- 委員会だより…………… 9

- メーリングリストとは…………… 10～11
- ブロックインフォメーション… 11～12
- 委員会責任者名…………… 13
- 事務局情報…………… 14～16

1日目

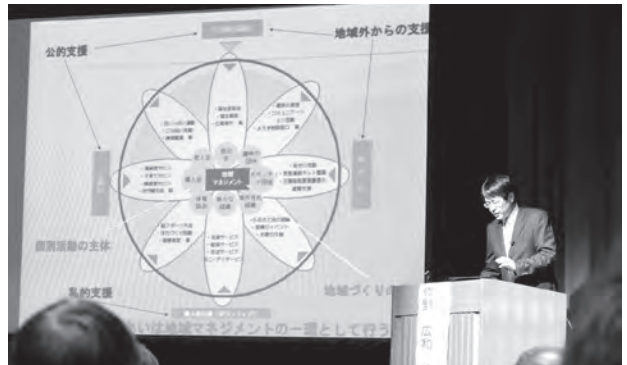
11月19～20日に養父市の但馬長寿の郷にて兵庫社会福祉セミナー IN但馬を開催、75名の参加がありました。

- 基調講演① 鳥根流「日本一の田舎づくり計画」を通じて
作野 広和 氏（鳥根大学教育学部 教授）
- 基調講演② 「住民と創る地域包括ケアシステム～名張式自治とケアをつなぐ総合相談の展開～」
永田 祐 氏（同志社大学社会学部 准教授）

作野氏の講演では、地域福祉は地域づくりにほかならず、行政・住民の対立構造の中に第三者が入ってのまちづくり、地域の支え合いをしていく必要があるという示唆を得ました。

永田氏の講演では、高齢・障害・児童という「縦割り」の分野の中で仕事をするのではなく、地域の中ではすべての分野における課題があるので、ワンストップで相談を受けることができるシステム、またそのような相談を受けることができる社会福祉士の存在が必要であるとご教授くださいました。永田先生

ご自身が社会福祉士ということもあり、熱く語っていただきました。



講師：作野広和氏



会場の様子



講師：永田祐氏

• 鼎談「地域福祉の課題を串刺しにする」

パネラーとして、基調講演①、②の講師作野広和氏、永田祐氏に加え、特別養護老人ホームはちぶせの里施設長で本会会員の中野穰氏の3者による鼎談も開催されました。短い時間ではありましたが、基調講演の内容を更に深めた実り多い鼎談でした。



中野氏が加わったの鼎談

また、参加者からの「募集をかけても新しい人材がなかなか得られない。実習生も少ない。何か良い策はないか」との質疑に対しては、「福祉職は後進に対して、現場の厳しさ・難しさを往々にして強調しがちではないか。我々自身ももっと“福祉の仕事”の魅力を発信で

きるようになる必要があるのではないか」との返答があり、考えさせられるものがありました。

今回の基調講演・鼎談について、詳しくは本会研究誌「兵庫社会福祉士」に掲載しますので、そちらをご覧ください。

地域づくり三ヶ条（作野氏より）

- ・失敗はない
- ・答えはない
- ・不可能はない

地域づくりにおける社会福祉士の役割（永田氏より）

自分たちの事業だけではなく、地域福祉全体をとらえる視点を持って、お互いに協力し合い、地域を創っていくという視点を持って、包括的な相談・支援にあたる。

2日目

・基礎研修 修了1期生企画「社会福祉士としての価値と倫理の再発見」

兵庫社会福祉セミナー2日目のこの日、基礎研修の修了生が研修を企画しました。まずは、中山副会長から「社会福祉士の倫理綱領」についての概説、倫理綱領の「価値と原則」、「倫理基準」などの話がなされました。

その後のグループワークは1つの班を国に見立て、国対抗の「福祉にまつわる深い話」の創作を行いました。その創作話には3つのキーワードを織り込む必要があり、オリンピックに因んだ3競技の勝者順に、会場の壁に貼られたキーワードを選ぶという、頭と身体を使ったゲーム要素のあるワークでした。キーワードはいずれも社会福祉士の倫理綱領から

抜粋されたものであり、改めて社会福祉士の価値と倫理について考える機会となりました。また、創作話を構想する材料として、メンバー同士の事例を発表しあう時間もミニ実践報告会といった形で共有でき、実り多き時間となりました。



社会福祉士としての価値と倫理の再発見

・オプションツアー 出石そばを食す！

豊岡といえば、「蕎麦」です！

蕎麦は、山芋・卵などをトッピングし、つゆや藻塩でいただきます。

20皿以上食べると「大食い」として、札（ふだ）がもらえます。さらに、30皿以上食べるとお店に名前を残すことができるということでした。

今回は、3人が20皿以上食べ「大食い」の認定を受け、副会長が30皿以上食べ名前をお

店に残してきました。蕎麦を食べに行くことがあれば、名前を探してみてください。



30皿食べたのは私です！

北海道浦河町にある精神障害等をかかえた当事者の地域活動拠点「べてるの家」施設見学会が9月22日から24日まで開催され23名の参加がありました。台風16号の進路が気になっていましたが、台風一過なんとか9月22日北海道へと旅立つことができました。

べてるの家は、有限会社福祉ショップべてる、社会福祉法人浦河べてるの家、NPO法人セルフサポートセンター浦河などの活動があり、総体として「べてる」と呼ばれています。100名以上の当事者が地域で暮らしていくための生活共同体、働く場としての共同体、ケアの共同体という3つの性格を有し、「べてるの家の理念」として、「三度の飯よりミーティング・安心してサボれる職場づくり・自分でつけよう自分の病気・手を動かすより口を動かせ」など多くあります。

新千歳空港からレンタルバスで札幌の時計台かと思われる外観の千歳道産市場へ移動し海鮮丼の豪華な昼食をいただき、新ひだか町アイヌ民族資料館と一年に一回開催される「シャクシャイン法要祭」で全国から集まって来られた方々のアイヌ古式舞踊を見学することができました。

その後、浦河町の「カフェぶらぶら」で「浦河べてるの家」のオリエンテーションをうけ、歓迎会と仕事振り返りミーティングに参加させていただきました。

浦河ウェリントンホテルで「べてるの家」の仲間との交流会を行い同ホテルで宿泊、2日目は、「ニューべてるの家」で朝ミーティングを見学し当事者ながら「べてるの家」で就労サポートセンターのサービス管理責任者として働いておられる伊藤さんの案内で浦河の街やグループホーム、「べてるセミナーハウス」今はグループホームとして利用されている「元祖べてるの家」等を見学した後、「ニューべてる」に戻り金曜ミーティングにも参加させて



メンバーの人と一緒に

いただきました。

各自の体調・気分・良かったこと・今週の苦労人・同じ苦労の経験を持つ方からのアドバイス、歌あり笑いあり、独語の方でもうまくマイクを回してミーティングに引き込み、遅れて参加された方にも必ず1回はマイクを持つ機会を作っておられる、小川さんの名司会に感激しました。

また、「当事者研究」というアプローチやSSTで練習し30年の長い歴史のなかで、自ら発信する力を身に着けられておられることや、職員に当事者スタッフが数多く採用され当事者活動が盛んであることが驚きでした。

グループホームからニューべてるや病院などへの送迎支援が定期的に運行されており、体調が悪くなっても家まで送ってもらえる自由度があり、2台の車で一日の運行距離が200キロから300キロもあるということでした。

「カフェぶらぶら」でおいしい昼食をいただき、べてる就労サポートセンターのそれぞれのチームの作業見学（昆布製品製造・さをり・刺繍等）後、私たち研修参加者のミーティングで「浦河べてるの家」を後にしましたが「浦河べてるの家」の活動に興味を尽きません。2015年には延2,500人もの見学者が訪れたように全国から注目されている「べてるの家」でした。

札幌に戻り3日目はオプションツアーに

参加する方や友人と出会われた方、旭山動物園等思い思いの観光を楽しみ帰途につきました。

最後になりましたが、この素晴らしい研修旅行を企画していただいた研修委員の皆様、また研修メンバーでありながらレンタルバスを北の大地で乗りこなし無事送迎していただいた荻本様お疲れ様でした。お陰様でとても実りあり、素敵な出会いとおなか一杯の研修となりました。



べてるの家の前にて

行事 報告

03

社会福祉士のためのやさしいパソコン講座3

報告 広報委員会

9月19日午後、兵庫県民会館にて、「社会福祉士のためのやさしいパソコン講座3」を開催しました。

この講座はパソコンやスマートフォン、タブレットが苦手な会員さんに、少しでも使い方を理解してもらい、ホームページやメーリングリスト、Facebook等から情報収集できるようになることを目的に開催しており、今年で3回目になります。

内容は2部構成で、1部では、中山副会長より「ITについて」をテーマに、OSやアプリケーションソフト、セキュリティに関する説明をしてもらいました。その後、2部では、参加者が学びたいことを、広報委員が説明するマンツーマン講座を行いました。

学びたいことは参加者に事前に考えてきてもらっており、今回は「パワーポイントで講義資料を作成したい!」、「ジェノグラムの作り方を教えて欲しい」「Facebookを使ってみたい」等をテーマに講座を実施しています。

参加者からは「定期的で開催してほしい」という声が多数あり、今後も開催します。



Facebook デビューできました!

講師：鎌田千佳子氏（尼崎市社会福祉協議会地域福祉課 社会福祉士）
長町 章子氏（尼崎市社会福祉協議会園田支部 社会福祉士）

10月14日、尼崎市立すこやかプラザにて標記の研修を開催しました。行政や社会福祉協議会など一般の参加も多数あり、合計49名の参加がありました。今回の学習会では、そのっこ夕やけ食堂の発足に至る過程から現在の取組み、更に社会福祉士に期待すること等のお話いただきました。

2016年4月にオープンした「そのっこ夕やけ食堂」を運営しているのは、尼崎市社会福祉協議会、障害者支援関係のNPO、行政、生活協同組合、高齢者施設、公民館、大学などの団体が集まる「園田地区子育て支援連絡会」。

2015年末にネグレクトが疑われるケースの相談から、対象児童の食を確保する目的で12月25日から翌年1月7日までの14日間、毎日「年末年始みんなでのお昼ごはんの会」を実施。小学校PTA役員の協力を得たり、小学校との連携を図りながら子どもの居場所を確保。これが「そのっこ夕やけ食堂」の前身となる。現在の「そのっこ夕やけ食堂」は、毎週金曜午後4時～7時に開館し、平均して子どもが12人、大人が22人参加しており、少しずつ地域に根ざしてきている、現在は2号店の「にじっ子夕やけ食堂in園田」の立ち上げ準備を行っている、との報告がありました。

多様な団体とのネットワークを築くことで、単に子どもの食を確保するだけに留まらず、様々なニーズを抱える子どもたちへの支援を継続して行うことができ、社会福祉士にもその一翼を担ってほしいとの話もありました。こども食堂が地域づくりの一つのツールとなっていることを改めて感じられる研修となりました。講師からの話の後、質疑応答の時間が30分ほどありましたが、質問者の挙手が絶えることがなく、参加者の関心の高さがうかがえました。研修後には、講師のお二人を囲んでの懇親会も行い、顔の見える距離で親睦を深めることができました。



学習会の様子



専門職のためのストレスマネジメント講座

～援助者のためのストレス解消法・マインドフルネスへのいざない(体験編)～に参加して

報告 参加者

10月15日16日の二日間、曹洞宗の東漸寺にて行いました。日帰りの方を含め、28名が参加しました。この研修に興味を持ち、県外から来られた方もおられました。

1日目の岡本会長の講義の中で、マインドフルネスについてわかりやすく解説されているNHKの番組「ガッテン!」を観ました。人は、一日に18万7千項目を考えているといわれ、その内容のほとんどは過去の後悔や将来の不安なのだそうです。一日に私が気づく数の後ろにゼロがたくさんついていることになり、私はその意外さにびっくりしました。その数の多さゆえ、脳が疲れてしまっているとのこと。しかし、マインドフルネスを8週間実践することによって、ストレスや痛みなどに対して効果があるという研究結果が出ているそうです。

東漸寺の不破住職からは、「禅の修行は座禅だけではない、日常生活のすべての行動、場面を修行の場ととらえる」との話がありました。翌朝、座禅後の朝食で、おかゆをいただきました。おかゆは好みでごま塩をかけるだけのシンプルなものでしたが、住職からは「食べる時に話をしてはいけない」、「食べている時の五感などの感覚や呼吸に心を向けるように」との教えがあり、最後にたくわんでおかゆを集め、お茶で椀をきれいにしてそのお茶も飲むことを教えていただきました。人の体は枯れていくのだけれど、それをなだらかにするために私たちは食べ物という命をいただいているという考えからです。これは、不破住職が修行をされた永平寺の朝食スタイルだそうです。

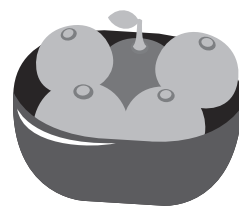
2日目は、アメリカのメリーランド大学の
大谷先生、関西学院大学の池埜先生による講義でした。大谷先生の、無常についての話が印象に残りました。「日本で無常という、よい状態から悪い状態になるというニュアンス



東漸寺にて

でとらえがちだが、常で無いのだからその逆もある。つらい状況にいと永遠にこのままだと私たちは感じてしまうが、いつか必ずそこから抜け出せる」というものでした。1日目に不破住職からも同様の話がありました。その他科学的な見地からも、マインドフルネスを継続することによって、よい方向に変化することを伝えられました。そして実際に、歩く瞑想や呼吸とともに腕を上げ下げする瞑想、ピーナツを使って食べる瞑想をしました。

今回の研修では、この瞬間の感覚を意識することの大切さを教えていただきました。マインドフルネスはいろんな方法があり手軽に行えるので、始めるにあたり敷居が低く、続けやすいのではないかと思います。また、マインドフルネスと禅との共通点が多いことに加え、私たちの生活の中にすでにマインドフルネスと同様の知恵がたくさんあることに気づいた二日間でした。



11月26日、27日の二日間にかけて、兵庫県福祉センターにて、社会福祉士実習指導者講習会を受講しました。この研修は、みなさんもお存じのとおり、社会福祉士の実習指導をするためには必須の研修となっています。そのため、実習の概論から始まり、ソーシャルワーク実習ができるためのプログラムの構築の仕方、また、リスクマネジメントや実習生へのスーパービジョン等、実習指導者が実習生の受け入れにあたって必要なことを幅広く学びました。

今回の研修を受講して特に学んだことが二つあります。一つは日々の業務から、ソーシャルワーク実践を抽出し、実習プログラムに落とし込むことの大切さです。ただ、施設で利用者と関わってもらう、ケース記録を読んでもらうだけではなく、そこに対応する上での社会福祉士の視点やどのような意図で実習の中に組み入れたのかを整理する必要があることを学びました。

二つ目は、これは懇親会で講師から教えてもらったことですが、社会福祉士に実習生を1日同行させる実習を組まなくても大丈夫であることです。実習生に、実習先の地域の地

域課題を考えてもらうという実習プログラムがあったとします。その地域の地域課題を考えてもらう上で、実習生には、資料や、インターネット環境のあるパソコンを手配し、自分たちでフィールドワークをしてもらい、レポートを書いてもらうという内容でも良いということです。もちろん、レポートを書いてもらった後で、実習指導者は、社会福祉士の視点やどのような気づきをしてもらいたかったのか等の振り返りをする必要があります。ただ、つきっきりで対応するようなプログラムでなくても大丈夫であることが良く分かりました。

これから、実習受け入れにあたってのマニュアルやプログラム作り、法人内の根回し等、やることは山積みですが、今日の研修でやっと実習指導者のスタートラインにたてました。後進育成にあたって、私も微力ながら頑張りたいと思います。



130名が熱心に参加



講義の後は楽しい懇親会

委員会
だより

広報委員会

委員長 胡中智礼

当委員会は、様々な社会福祉に関する研修やイベントの取材を行い、会員機関誌「このとり通信」と広報誌「兵庫県社会福祉士会」の編集・発行を行っています。委員会は土曜または日曜に、兵庫県福祉センター5階の事務所にて開催しています。幅広く情報を発信するための“コツ”や気をつけなければいけないこと等、委員会活動を通して情報発信のスキルを身につけることができます。

今号では、兵庫社会福祉セミナーの取材及び記事の作成を行いました。今後も様々な研

修やイベントの取材を行い、情報を発信していく予定です。

また、2017年2月25日（土）にはチラシ作りの講座を開催します。チラシの基本的なポイントや組み立て方、キャッチコピーの付け方、Wordで使える小技や時間短縮のコツなどについての研修会です。詳細については、このとり通信新春号（別冊）を参照してください。



うすき行政書士事務所
(うすき社会福祉士事務所併設)

いずれかに当てはまる方は是非一度お問い合わせください！

- 福祉・介護サービス事業所を立ち上げたい
- 新しく会社やNPOを興したいと考えている。
- 認定NPO等の準備を考えている。
- 医療法人・社会福祉法人を設立したい。
定款変更・規則作りなど運営内容に助言がほしい
- 保育所・認定こども園をやりたい
- 成年後見を活用したほうがいい方がいる。
- 遺言書や相続に関する問い合わせを受けた。
- 遺産分割、相続手続きに悩んでいる。

《業務内容のご紹介》

・各種公益法人（社団・財団・社福・医療）の設立手続き ・株式会社、NPO法人など設立手続き ・障害福祉サービス事業の手続き
 ・介護・障害サービス等の設立手続き等 ・介護タクシーの許可取得 ・遺言書、遺産分割協議書作成
 ・相続対応や成年後見制度の活用など ・クリーニングオフなどの内容証明郵便作成 ・訪問介護等の駐車許可申請などの自動車関係
 ・その他、契約書や覚書作成の事実関係業務 など （司法書士、社会保険労務士、税理士等と連携して業務を行うこともあります）

ご相談はこちらまで。
どこでも駆けつけます！



行政書士のマスコットキャラクター ユキマサくん

お電話はこちら！
0798-34-3999

090-9264-7594
gosoudan@usuki-office.com

うすき行政書士・社会福祉士事務所（大口事務所 併設）

兵庫県西宮市本町7番15号

（阪神西宮駅南 徒歩5分 西宮えびす神社そば）

兵庫県行政書士会・兵庫県社会福祉士会 会員

※行政書士法第1条2行政書士は、他人の依頼を受け報酬を得て、官公署に提出する書類、その他権利義務又は事実証明に関する書類を作成することを業とする。（行政書士は業務独占です。行政書士以外の者が他人の依頼を受け報酬を得て業務を行うと行政書士法違反になります。）



はじめに/メーリングリストの活用について

現在兵庫県社会福祉士会では、ひよこメーリングリストの運営をしています。登録すると便利なので、ご紹介させていただきます。

何ができるの？

登録者に対して一斉に同じ内容の文章を送信することができ、情報の共有が即座に行えます。また登録者は全員が発信者にもなることができ、発信者のトピックスについて登録者全員で双方向的なやりとりが可能になります。

事務局からは、日本社会福祉士会や関係団体、兵庫県下の事業所のイベント情報や求人情報などをタイムリーに発信しています。

登録していない方にはその情報は届きません。

注意点

メーリングリストのアドレスにメールを送ると、その内容はみなさんに読まれることとなります。1度メールを送ると削除できません。従って秘密の根回しや、デートのお誘いなどは内容として不適切ですので、みなさん注意してください。

今後もみなさんにとって有益なメーリングリストとなるよう努力を重ねていきますので、みなさん登録の申し込みをしていただきますようお願いいたします。

メーリングリスト登録方法



〈登録方法〉

- ①兵庫県社会福祉士会のホームページ (<http://www.hacsw.or.jp>) にアクセスする。
- ②ページ左の「メーリングリスト」というリンクにアクセスする。
- ③「メーリングリストについてよくあるご質問」をご一読ください。
- ④必要事項を入力し、送信する。

以上の手順を踏んでいただき、事務局で会員かどうかの確認の上で登録いたします。会員確認する都合上、即日登録できないことをご了承ください。

QRコードはこちら



メーリングリストへの登録アドレスを変更する場合についてのお願い

ひよこ ML への登録アドレスを変更する場合についてのお願いです。

最近、ひよこ ML への登録アドレス数の増加に伴い、メールが届かないこと（エラー）が多く発生してきています。担当として、エラー対応に手間と時間がかかる状態となっています。

対応として、登録アドレスへの変更の連絡がない場合においても、メーリングリストの登録から削除することとします。

ひよこ ML のメールが滞りなく届くよう、登録アドレスを変更したときは、必ず、アドレス変更の連絡・手続きをお願いします。また、携帯アドレス等において迷惑メール対応が設定されている可能性がありますのでご確認ください。

上記の説明で分からない点等ありましたら、syadanhyogo@hacsw.or.jp こちらに連絡ください。宜しくお願いします。

ブ ロックインフォメーション ①

阪神ブロック（ブロック長 中原 克子）

当ブロックでは、2ヶ月に1回役員会を開催するとともに、地域部会の活動を中心に、会員の交流や学習の場づくりを推進しています。

10月14日に阪神ブロック学習会「こどもの貧困問題を考える～尼崎市そのੱこ夕やけ食堂の取組から～」を開催し、49名の参加がありました。

阪神ブロックでは、今後も会員のスキルアップや関係機関とのネットワーク作りなどにつながる研修会等開催していきます。

《今後の予定》

阪神ブロック以外の方の参加も歓迎です。

1月21日（土） 芦屋・西宮部会

「コミュニケーション麻雀って!？」

1月27日（金） 川西・猪名川部会①

「発達障がいについての正しい理解と支援のために」

2月24日（金） 川西・猪名川部会②

「セルフヘルプグループの役割と活動の実際について」

【阪神ブロックメーリングリスト登録のお願い】

阪神ブロックの方で、当ブロックのメーリングリスト登録をしていない方は、担当者宛にメールを送信し、アドレス登録をお願いいたします。

申し込み・問い合わせ先:sw_hanshin@yahoo.co.jp



西はりまブロック (ブロック長 塩尻 点)

○まちかど無料相談会

開催日：2016年11月3日

9：00～15：00

開催場所：姫路大手前公園

気持ち良い秋晴れの一日、ひめじ福祉まつり会場において、西はりまブロックメンバー、相談委員会の協力のもと開催いたしました。

姫路城に見守られながらのチラシ、ノベルティの配布を行いました。この相談会も定着してきたようで「今年は、メモ帳と違うのね」と顔なじみの方に声をかけられたり、参加団体の方々との楽しい交流を持ちながら、福祉・介護、社会福祉士の啓発に努めました。

本来の相談業務の他に、社会福祉士を目指す学生さんの訪問もありました。学生さんの様々なインタビューに対して現役バリバリの社会福祉士による的確な助言や回答もありました。



まちかど無料相談会



ノベルティを配りました

○集まりましょう!

顔の見える関係づくり、会員相互の交流をめざして月1回程度、集まりませんか。楽しく食事しながら情報交換したり、気軽に語り合いましょう。「一般社団法人兵庫県社会福祉士会西はりま地区ブロック facebook」等で連絡させていただきますのでよろしくお願いいたします。新人会員の方、またお友達も大歓迎です。

○兵庫県社会福祉セミナー in 西はりま

今年、2017年度は西はりま地区ブロックで開催される予定の兵庫県社会福祉セミナー。

さてさて、西はりまの魅力をもっと楽しく学ぶ機会にしましょう。皆様のご協力、よろしくお願ひ申し上げます。

■ 委員会責任者名

Committee person in charge

研修委員会	近藤 健太	地域包括支援センター支援委員会	山内 賢治
調査研究委員会	井土 睦雄	こども家庭支援委員会	田邊 哲雄
国家試験対策委員会	薄木 公平	実習教育支援委員会	乾 なち子
広報委員会	胡中 智礼	独立型社会福祉士支援委員会	石原知佳子
相談委員会	西垣 和仁	障がい福祉委員会	尾崎 剛志
ソーシャルワーク研究委員会	酒井 淳子	更生支援委員会	原田 和明
高齢者虐待対応委員会	伊東 圭一	地域移行支援委員会	國本 康夫
ばあとなあ兵庫	伊藤 彰	生活困窮者支援委員会	谷口 智昭

委員会活動についてご質問、問い合わせなどされる場合は、
下記アドレス宛にお問い合わせください。
syadanhyogo@hacsw.or.jp



作：中川 一夫

事務局情報

第24回近畿ブロック研究・研修 奈良 大会について

※詳細は、奈良県社会福祉士会HPに掲載してありますので、ご確認ください。

<http://www.nara-csw.or.jp/>

大会テーマ

国のまほろば大和より

社会福祉の原点を見つめ未来を考える

～「その人らしく生きる」に寄り添う～

開催日：2017年2月11日（土・祝）・12日（日）

会 場：奈良県民文化会館

奈良市登大路町6-2

TEL 0742-23-8921

定 員：200名

第15回総会（予算総会）開催について

下記の通り開催いたします。詳細につきましては後日ご案内いたします。

開催日：2017年3月25日（土）

会 場：兵庫県福祉センター1階

会 員 数

正会員 1,511名（2016年11月末現在）

周りの未入会の方に入会をお誘いください。

職場を異動、または転居された場合は、住所変更届を必ず日本社会福祉士会へ提出して下さい。住所変更届等様式は、日本社会福祉

士会のホームページでダウンロードできます。
※このとり通信は、メール便にて発送しています。郵便局への転居届では転送されませんので、ご注意ください。

理事会報告

2016年度 第6回理事会

日 時：2016年9月25日

場 所：兵庫県福祉センター 202

出 席：理事11名 監事2名

<協議事項及び報告事項>

○2017年度予算について

予算方針、スケジュールの確認

2016年度予算執行状況の把握と補正予算についてのスケジュール確認

○兵庫社会福祉セミナーについて

日 時 2016年11月19日・20日

会 場 兵庫県立但馬長寿の郷

○日本社会福祉士会関連

・都道府県社会福祉士会会長会議
（9月3日、4日開催）について

・分野別専門研修について

地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修

障害者の地域生活支援実践力養成講座

・認証研修の実施状況について

高齢者虐待対応研修 33人修了

成年後見人養成研修 実施中
組織管理者研修 36人修了
福祉人材育成研修 2017年2月開催予定

○組織課題の進捗状況について

- ・組織規程の整備担当理事より報告
事務処理規程、経理規程、職員給与規程の整備を行う。
- ・行事担当理事より報告
2017年度のソーシャルワーカーデーは2017年7月9日（日）開催を予定として進めていく。
- ・ブロック活動活性化について
ブロック担当理事との話し合いを開催。
現状と課題を共有した。
- ・組織力向上戦略会議
研修ニーズ調査及び入会促進キャンペーンの実施、本会専用キャラクターの募集
- ・虐待対応プロジェクトチーム
高齢者虐待だけでなく、障害者虐待をも包含して対応。
- ・災害支援
災害支援委員会に向けての準備会を開催（10月1日）
- ・法人後見、未成年後見に関すること

2016年度 第7回理事会

日時：2016年11月26日
場所：兵庫県福祉センター 202
出席：理事9名 監事2名

<協議事項及び報告事項>

○2016年度予算執行状況について

- ・今年度上半期の予算執行状況と今後の執行予定について

○本会規程等の整備について

- ・定款施行細則（案）について
- ・本会事務処理規程（案）について
- ・ぱあとなあ兵庫名簿登録規程について
- ・高齢者虐待対応委員会規程の改正について

○日本社会福祉士会関連

- ・2017年度通常総会から2019年度通常総会（1期2年）を任期とする次期役員を選出のための選挙について
- ・2016年度全国生涯研修委員会議

事務局に届いた刊行物のご紹介

事務局に届いた刊行物を閲覧できるようにしましたのでご活用ください。

- *（公社）大阪社会福祉士会
なにわだより No.219, 220, 221
- *（公社）東京社会福祉士会
東京社会福祉士会ニュース vol.234
- *（公社）北海道社会福祉士会
かわら版 No.50, 51
- *（一社）岡山県社会福祉士会
岡山県社会福祉士会だより 9月号、10月号、11月号
- *（一社）静岡県社会福祉士会
静岡県社会福祉士会 No.265, 266, 267
- *（公社）神奈川県社会福祉士会
かながわの風 vol.13
- *（公社）埼玉県社会福祉士会 会報第22号
- *（一社）熊本県社会福祉士会

Certified Social Worker くまもと第56号

- * (公社) 新潟県社会福祉士会
新潟社会福祉士実践報告 第15号
- * (社福) きょうされん
月刊きょうされんTOMO9月号、10月号、11月号
- * (社福) 兵庫県社会福祉協議会
ひょうごの福祉 9月号、10月号、11月号

定期購読書籍

書籍を拡充しました。事務局にて自由にお読みいただくことができます。

- * 月刊福祉 (全社協)
- * 月刊ケアマネジャー (中央法規)
- * 生活と福祉 (全社協)

今後の予定

2016年度 理事会・総会のご案内

【日 程】

- 第9回 理事会 1月21日 (土)
- 第10回 理事会 2月18日 (土)
- 第11回 理事会 3月25日 (土)
- 第15回 総 会 3月25日 (土)

協議事項等がありましたら、各理事又は事務局へご連絡ください。

..... 事務局連絡先

【事務局】

一般社団法人 兵庫県社会福祉士会
〒651-0062

神戸市中央区坂口通2-1-1
兵庫県福祉センター5階
電話：078-265-1330
FAX：078-265-1340

【事務局員】

事務局長	西野	佳名子
事務局次長	谷口	智昭
事務局員	中村	智穂美
事務局員	北野	和香子
事務局員	胡中	智礼
事務局員	笹岡	久美
事務局員	萩原	美千紘

【事務局メールアドレス】

syadanhyogo@hacsw.or.jp

【ぱあとなあ兵庫事務局】

電話：078-222-8107
partner-jimu@hacsw.or.jp

【研修申込専用メールアドレス】

entry@hacsw.or.jp